ヒロセ電機株式会社

2026 年 3 月期第 2 四半期　決算説明会

2025 年 11 月 6 日

イベント概要

[企業名]	ヒロセ電機株式会社
[企業 ID]	6806
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2026 年 3 月期第 2 四半期　決算説明会
[決算期]	2025 年度　第 2 四半期
[日程]	2025 年 11 月 6 日
[ページ数]	17
[時間]	10:30 – 11:34 （合計：64 分、登壇：20 分、質疑応答：44 分）
[開催場所]	インターネット配信
[会場面積]	
[出席人数]	
[登壇者]	4 名 代表取締役社長　鎌形　伸　（以下、鎌形） 取締役 管理本部 本部長　松永　光生（以下、松永） 広報・IR 室 室長　山田　理絵（以下、山田） 広報・IR 室　清水　秀章（以下、清水）

登壇

山田：それでは、定刻になりましたので、ただいまよりヒロセ電機決算説明会を開催いたします。本日はご参加いただきありがとうございます。弊社側社長の鎌形、取締役管理本部長の松永、進行を務めます私広報・IR 室山田および清水でございます。今回もオンライン開催になりますが、よろしくお願いいたします。

まず冒頭、本会の説明をさせていただきます。本日の決算説明会資料ですが、ご参加の画面上のリンクから PDF ファイルをダウンロードいただき、お手元でご覧ください。同様に、先日 11 月 4 日に東証にて開示しております決算短信もリンクがございます。通期業績予想の修正に関するお知らせ等その他の会議資料については、弊社ウェブサイトの IR ページに遷移していただき、ご覧いただけるようになっております。

まず資料に基づきまして、私より 26 年 3 学期上期の決算のご説明を申し上げてまいります。後半の業績予想の修正等については、社長の鎌形よりお伝えさせていただきます。残り時間でご質問をお受けし、その際は鎌形、松永も含め、ご回答申し上げます。閉会は 11 時 30 分を予定しております。

HRS

業績サマリー　（ 2025年度 第2四半期累計　2025年4月～9月）

全体の売上は好調ながら，金属材をはじめとした材料費，人件費等の増加が利益の押し下げ要因となりました。
一般産機市場向けは回復基調を維持し期初計画を上回る進捗。自動車・モビリティ関連向けも引き続き堅調。スマートフォン市場向けは数量増は想定通りながら，価格対応等により売上，営業利益共に影響が出ました。累計売上は前年同期比＋7.9%，営業利益は-7.9%，営業利益率は20.1%。受注は２Q累計で1,061.5億円と前年同期比 ＋8.8%となりました。

（金額：億円）

	2024年度			2025年度			前年同期比
	1Q (24.4-6)	2Q (24.7-9)	累計 (24.4-9)	1Q (25.4-6)	2Q (25.7-9)	累計 (25.4-9)	2025.2Q累計 / 2024.2Q累計
受注	484.8	491.1	**975.9**	520.1	541.4	**1,061.5**	+8.8%
売上	448.7	496.5	**945.2**	489.7	530.5	**1,020.2**	+7.9%
営業利益	102.6	119.6	**222.2**	98.3	106.3	**204.6**	-7.9%
営業利益率	22.9%	24.1%	**23.5%**	20.1%	20.0%	**20.1%**	-3.4pt

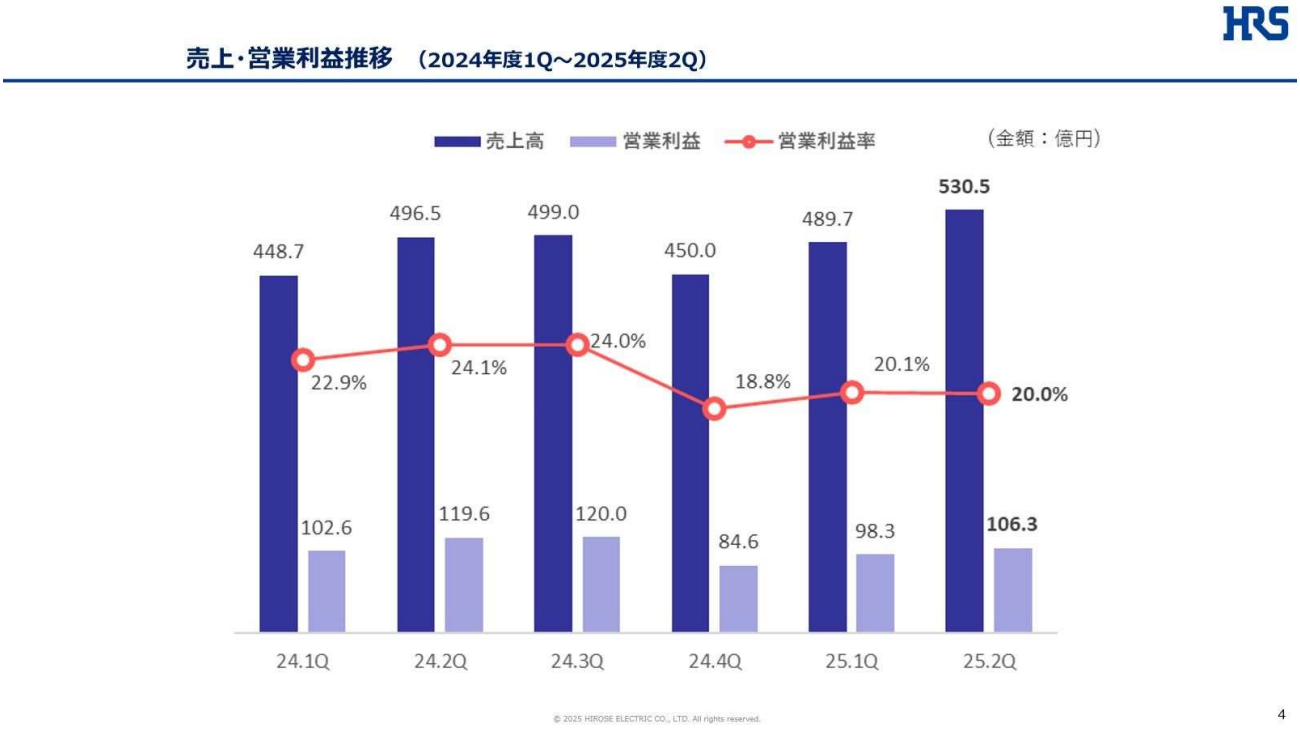
© 2025 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All rights reserved.

3

それでは資料の方に移らせていただきます。まず 3 ページからお願いいたします。業績サマリーです。

2025 年度第 2 四半期の結果ですが、全体の売上は累計で 1,020.2 億円、前年同期比プラス 7.9%と好調ながら、金属材をはじめとした材料費、人件費等の増加が利益の押し下げ要因となり、営業利益は累計で 204.6 億円の前年同期比マイナス 7.9%という結果です。

営業利益率は 20.1%でした。セグメント別では、一般産機市場向けは回復基調を維持し、期初計画を上回る進捗。自動車・モビリティ関連向けも引き続き堅調という結果でした。一方でスマートフォン市場向けは、数量増は想定どおりながら、価格対応等により、売上、営業利益ともに影響が出ました。受注は累計で 1,061.5 億円と前年同期比プラス 8.8%となりました。



続きまして 4 ページは四半期ごとの売上・利益の推移グラフになります。

25 年度第 2 四半期は、売上 530.5 億円、営業利益 106.3 億円、営業利益率は 20.0%ちょうどとなりました。

2025年度 第2四半期 連結決算概要

（金額：億円）

	2024年度2Q累計（2024/9月期）	2025年度2Q累計（2025/9月期）	増減額（対前年同期比）	増減比（対前年同期比）
売上高	**945.2**	**1,020.2**	**+75.0**	**+7.9%**
売上原価率	54.7%	57.9%	+3.2	
販売・管理費比率	21.7%	21.8%	+0.1	
営業利益	**222.2**	**204.6**	**-17.6**	**-7.9%**
営業利益率	23.5%	20.1%	-3.4	
税引前利益	**238.5**	**221.0**	**-17.5**	**-7.3%**
税引前利益率	25.2%	21.7%	-3.5	
当期利益	**175.3**	**155.2**	**-20.1**	**-11.5%**
当期利益率	18.5%	15.2%	-3.3	
自己資本比率	**89.2%**	**88.4%**		
1株当たり当期利益	**518.17円**	**459.37円**		

	2024年度2Q累計	2025年度2Q累計
1US$	152.63円	**146.04円**
1€	165.95円	**168.06円**
100ウォン	11.21円	**10.50円**

© 2025 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All rights reserved.

5

そして 5 ページは決算概要になります。2025 年度上期売上は先ほどお伝えしたとおり 1,020.2 億円、前年同期比がプラス 7.9%、営業利益は 204.6 億円、前年同期比はマイナス 7.9%、営業利益率は 20.1%、税前利益が 221 億円、当期利益が 155.2 億円、自己資本比率は 88.4%、1 株当たり当期利益は 459.37 円という結果でございました。

為替の実績は右下にありますとおり、ドルが 146.04 円、ユーロが 168.06 円、ウォンは 100 ウォン 10.50 円でした。

2025年度 第2四半期 対前年同期主要増減

売上高

75.0 億円 増加 (945.2億円 → 1,020.2億円)

一般産機	：+59億円
ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ・携帯端末	：－ 6億円
ｺﾝｼｭｰﾏ・ﾓﾊﾞｲﾙ機器	：－ 4億円
自動車・ﾓﾋﾞﾘﾃｨ関連	：+ 19億円

売上原価率

3.2 pt 悪化 (54.7% → 57.9%)

変動費率	：38.1% → 41.2%
減価償却費率	： 7.7% → 7.8%
労務費率	： 7.5% → 7.8%

販売・管理費比率

0.1 pt 悪化 (21.7% → 21.8%)

205.6億円 → 222.0億円 (+16.4億円)

金融収益・費用

0.1 億円 増加 (+16.3億円 → +16.4億円)

為替差損益	：－5.9億円 → －1.8億円
受取利息等	：+16.4億円 → +15.9億円

© 2025 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All rights reserved.

6

続いて 6 ページに対前年の主要増減をまとめています。売上増 75 億円のうち、一般産機向けの売上がプラス 59 億円、スマートフォン・携帯端末向けがマイナス 6 億円、コンシューマ・モバイル機器向けがマイナス 4 億円、自動車モビリティ向けがプラス 19 億円という結果でございました。

売上原価率は昨年の 54.7%から 3.2%悪化して、57.9%となりました。主なところでは、変動費率が 38.1%から 41.2%となり、材料費、仕入れ費用増が影響しています。他、減価償却費率が 7.7%から 7.8%へ、労務費率が 7.5%から 7.8%となりました。

販管費は、物流費の増加などで 16.4 億円増加しましたが、率としては 0.1%の悪化で 21.8%という結果でございました。金融収支は為替差損益としてマイナス 5.9 億円だったものが、マイナス 1.8 億円、受取利息は微減となり、合計で 0.1 億円の増加という結果です。

2025年度 第2四半期 対前年同期 変動分析

（金額：億円）

	売上	営業利益	営業利益率	税前利益	税前利益率
2024年度 2Q累計 実績	**945.2**	**222.2**	**23.5%**	**238.5**	**25.2%**
為替影響	-31.9	-20.1		-17.0	
人件費増		-22.0		-22.0	
減価償却費増		-6.1		-6.1	
物量増他	106.9	30.6		27.6	
変動額計	**75.0**	**-17.6**		**-17.5**	
2025年度 2Q累計 実績	**1,020.2**	**204.6**	**20.1%**	**221.0**	**21.7%**	

© 2025 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All rights reserved.

7

続いて 7 ページ対前年同期比の 2Q 累計の変動分析になります。為替の影響は売上ではマイナス 31.9 億、営業利益ではマイナス 20.1 億円でした。人件費増が 22 億円、減価償却費増の 6.1 億円が減益要因、物量増他で 30.6 億円の増益で、営業利益はマイナス 17.6 億円の減少という結果でした。

連結貸借対照表（1）

（金額：億円）

	科目	2025/3末	2025/9末	増減額	備考
資産	現金及び現金同等物	856.7	840.2	-16.5	当期税前利益+221、自己株式買付△66 設備投資(建物等含む)△115 配当支払 △83、法人税等納付 △85
資産	営業債権及びその他の債権	403.9	481.1	+77.2	売上増加
資産	棚卸資産	250.9	258.9	+8.0	
資産	その他金融資産	1,513.7	1,528.2	+14.5	有価証券＋58、定期預金減 △44
資産	有形固定資産	863.8	895.1	+31.3	生産設備増
資産	使用権資産	49.4	50.8	+1.4	
資産	その他	230.2	215.1	-15.1	未収消費税還付
資産	合計	4,168.7	4,269.5	+100.8	
	現預金合計	1,604.5	1,544.0	-60.5	

© 2025 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All rights reserved.

8

続きまして 8 ページが BS 資産の部になります。現金のところは自己株の買い付けや設備投資等により減っております。棚卸資産はプラス 8 億円となっておりますが、為替による影響が含まれており、実質は微増という見方をしております。

有形固定資産は、生産設備等の増加により、プラス 31.3 億円となりました。

HRS

連結貸借対照表（2）

（金額：億円）

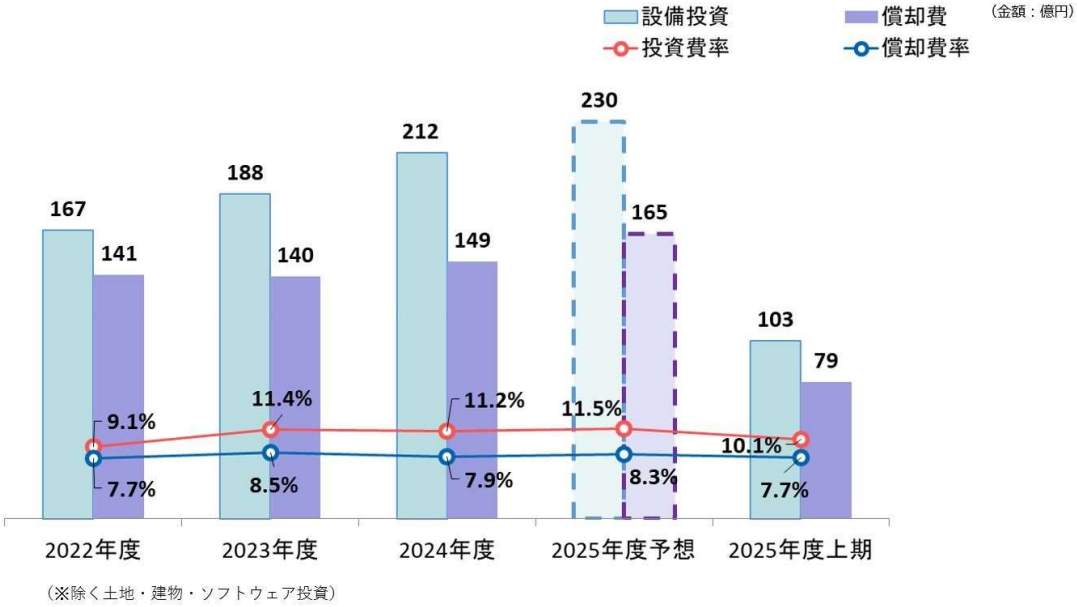
	科目	2025/3末	2025/9末	増減額	備考
負債	支払債務及び その他の債務	129.0	140.2	+11.2	仕入増による買掛金増+16
	リース負債	52.0	53.3	+1.3	
	未払法人税	81.4	55.1	-26.3	国内法人税納付
	その他	204.8	247.1	+42.3	賞与引当金増、繰延税金負債増
	合計	467.2	495.8	+28.6	
純資産	資本金及び 資本剰余金	206.3	207.3	+1.0	
	利益剰余金	3,489.7	3,562.1	+72.4	当期純利益＋158、配当金支払 △83
	自己株式	- 274.6	- 340.3	-65.7	
	その他	280.1	344.7	+64.6	為替換算調整(KRW高等による)+59
	合計	3,701.5	3,773.7	+72.2	
	負債及び純資産合計	4,168.7	4,269.5	+100.8	

© 2025 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All rights reserved.

9

続いて 9 ページは、負債と純資産の部になります。負債のところでは、その他の賞与引当増と繰延税金負債増によりトータルで増加しております。また、純資産のところでの自己株式は、今年度 8 月より進めております自己株式取得の 9 月末までの実績によるものです。

設備投資・償却費 推移(連結ベース)



© 2025 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All rights reserved.

10

続きまして、10 ページの設備投資と償却費の推移になります。上期の設備投資額は 103 億円、償却は 79 億円でした。24 年度予想の設備投資 230 億円、償却費 165 億円に変更はございません。

資料に記載はございませんが、2Q 累計の研究開発費は 66 億円という実績でした。研究開発費の 25 年度予想は 140 億円のまま修正はございません。

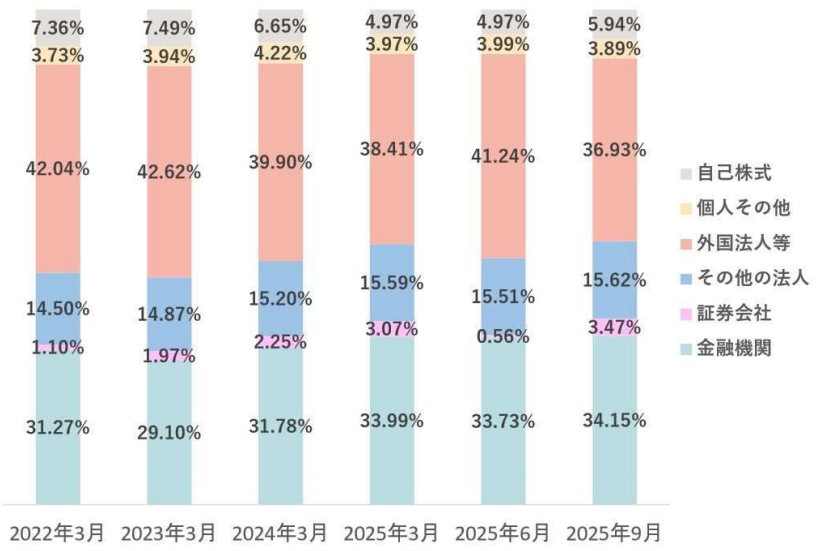
従業員数 推移 (有報ベース)

© 2025 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All rights reserved.

11

続いて 11 ページ従業員数の推移になります。25 年度期末より国内でプラス 214 名と大幅に増加しておりますが、これは 25 年度 7 月末に SER 社を子会社化しており、その従業員 140 名が含まれております。

株式分布推移



© 2025 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All rights reserved.

12

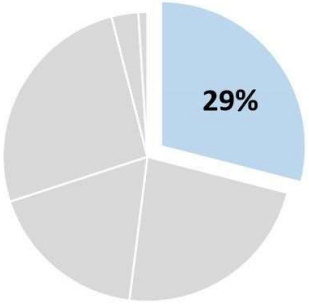
次 12 ページ株式分布推移のスライドです。自己株式が 4.97%から 5.94%に上がっており、これは自己株式の取得によるものです。また、外国法人の割合が 37%に減少しております。

分野別売上　一般産機

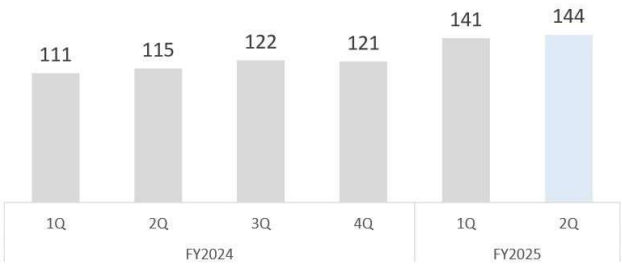
（金額：億円）

	2024年度			2025年度			前年同期比
	1Q	2Q	累計	1Q	2Q	累計	2025.2Q累計 /2024.2Q累計
売上高	111	115	226	141	**144**	**285**	+26%

● 2025年度　2Q累計　構成比



● 四半期別売上推移



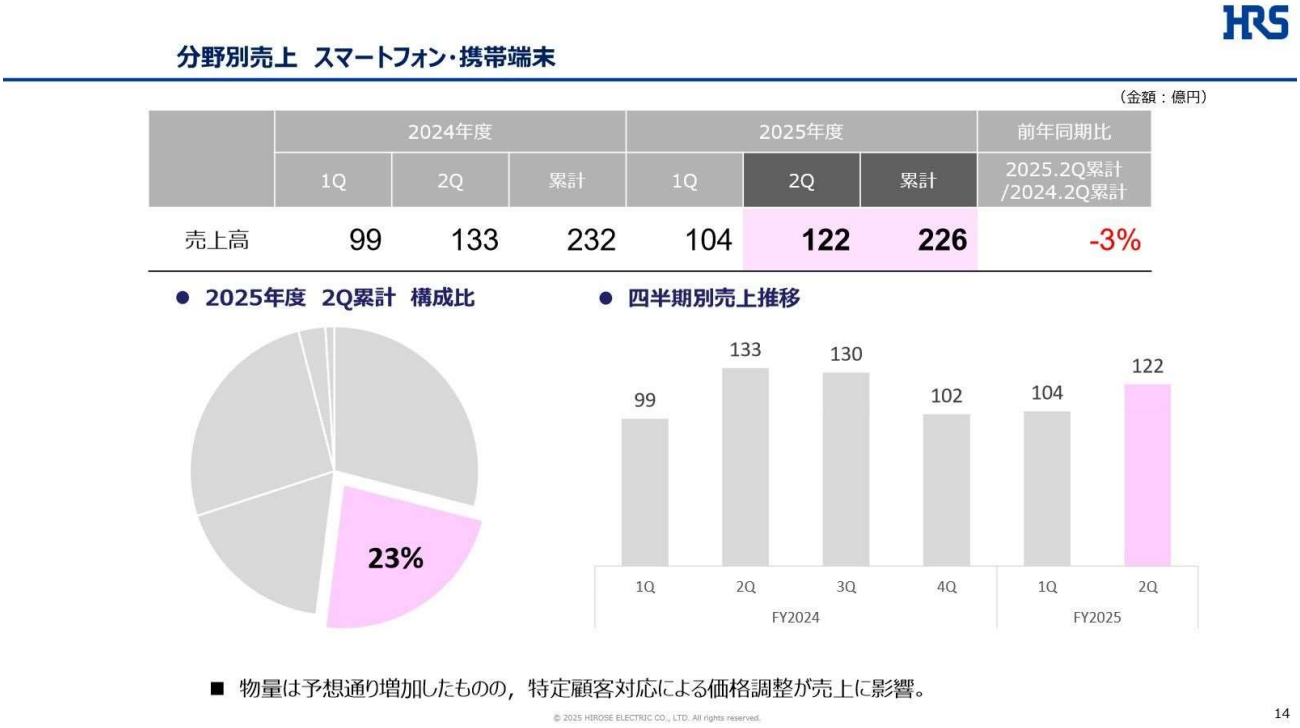
■ 力強さは欠くものの、回復トレンドは維持しており期初の予想を超える水準で推移

© 2025 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All rights reserved.

13

続きまして 13 ページ、ここからは分野別の結果になります。

最初は一般産機向けの売上になります。25 年度上期の売上は 285 億円、前年同期比ではプラス 26%、1Q と比較して 2Q は微増のプラス 2%という結果です。力強さはまだ感じられないものの回復トレンドは維持しており通期で 500 億円という期初の予想を超える水準で推移いたしました。



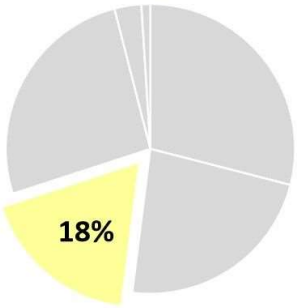
続いて 14 ページ、スマートフォン携帯端末向けになります。第 2 四半期の売上は 122 億円と季節性もあり、第 1 四半期の 104 億円よりも 18 億円増加したものの、想定ほど伸びなかったと言えます。こちら、物量としては予想どおり増加したものの、特定のお客様先にて価格対応があったことが売上に影響しております。

分野別売上　コンシューマ・モバイル機器

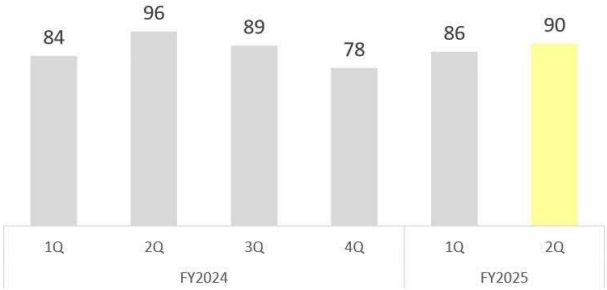
（金額：億円）

	2024年度			2025年度			前年同期比
	1Q	2Q	累計	1Q	2Q	累計	2025.2Q累計 /2024.2Q累計
売上高	84	96	180	86	**90**	**176**	-2%

● 2025年度　2Q累計　構成比



● 四半期別売上推移



■ ノートPC・タブレット市場の減速等はあったものの季節性により売上増加。

© 2025 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All rights reserved.

15

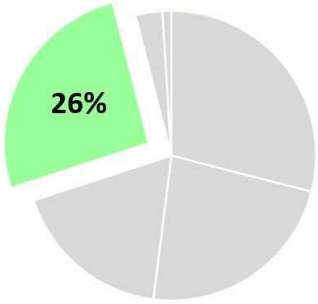
続きまして 15 ページ、コンシューマ・モバイル機器向けになります。サブセグメントとなるノート PC・タブレット市場の減速等もあり、2Q 累計での前年同期比マイナス 2%となりましたが、このセグメントも季節性にて 2 Q は 1 Q から伸びて、第 2 四半期は 90 億円という結果でございました。

分野別売上　自動車・モビリティ関連

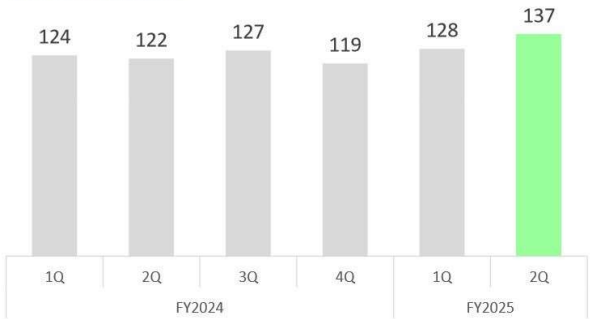
（金額：億円）

	2024年度			2025年度			前年同期比
	1Q	2Q	累計	1Q	2Q	累計	2025.2Q累計 /2024.2Q累計
売上高	124	122	246	128	**137**	**265**	+8%

● 2025年度　2Q累計　構成比



● 四半期別売上推移



■ 25年度＋7%成長予想に対し堅調な結果であった。

© 2025 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All rights reserved.

16

続いて 16 ページ自動車・モビリティ関連向けです。第 2 四半期は 137 億円で、累計は 265 億円と上期の前年同期比はプラス 8%の 265 億円、構成比としては 26%です。こちらは堅調な推移と言えるかと思っております。

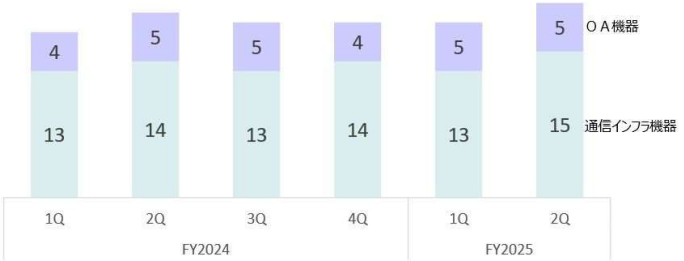
分野別売上　通信インフラ機器 / OA機器

（金額：億円）

	2024年度			2025年度			前年同期比
	1Q	2Q	累計	1Q	2Q	累計	2025.2Q累計 /2024.2Q累計
通信インフラ機器	13	14	27	13	**15**	**28**	+4%
OA機器（事務機）	4	5	9	5	**5**	**10**	+11%

● **2025年度　2Q累計　構成比**

● **四半期別売上推移**



© 2025 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All rights reserved.

17

17 ページは通信インフラ機器向けと事務機器向けの売上実績推移になります。こちら特にコメントすることはございません。

残りのスライドは、社長の鎌形よりお話しさせていただきます。

2025年度 業績予想（連結）

為替動向と 一般産機向けビジネスが予想を上回る見込みのため2025.5の公表値を修正致します。

（金額/億円）

	2024年度（2025/3月期）実績		2025年度（2026/3月期）予想			第2四半期累計 対前年実績		通期予想 対前年実績	
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計 実績	2025.5 公表値	今回修正 公表値	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	945.2	1,894.2	**1,020.2**	**1,910.0**	**2,000.0**	+75.0	+7.9%	+105.8	+5.6%
売上原価率	54.7%	54.9%	57.9%	**57.6%**	**56.5%**				
営業利益	222.2	426.7	**204.6**	**385.0**	**400.0**	-17.6	-7.9%	-26.7	-6.3%
（%）	23.5%	22.5%	20.1%	**20.2%**	**20.0%**				
税前利益	238.5	462.2	**221.0**	**400.0**	**430.0**	-17.5	-7.3%	-32.2	-7.0%
（%）	25.2%	24.4%	21.7%	**20.9%**	**21.5%**				
当期利益	175.3	330.3	**155.2**	**280.0**	**300.0**	-20.1	-11.5%	-30.3	-9.2%
（%）	18.5%	17.4%	15.2%	**14.7%**	**15.0%**				
一株当たり当期利益	—	976.37円	—	**827.53円**	**891.76円**				
一株当たり配当	245円	490円	245円	**490円**	**490円**				
連結配当性向	—	50.2%	—	**59.2%**	**54.9%**				

【為替レート】	2024年度実績	2025年度予想
1US$	152.58円	**147.00円**
1€	163.75円	**171.00円**
100ウォン	10.97円	**10.50円**

© 2025 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All rights reserved.

18

鎌形：社長の鎌形です。日頃大変お世話になっております。18 ページより私からの説明とさせていただきます。

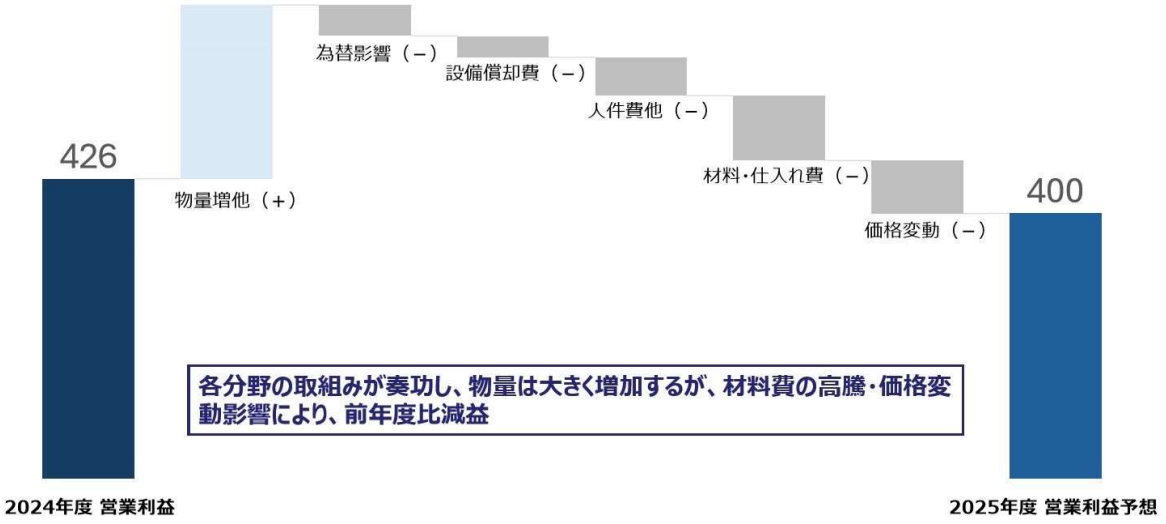
まず今年度の業績予想につきましては、既に皆様ご存知かと思いますが、今回上方修正をさせていただいております。売上高は 5 月の段階では 1,910 億円でしたがこれを 2,000 億円に上方修正。合わせて営業利益については、385 億円を 400 億円に上方修正しております。

営業利益率は 20%。税前利益は 430 億円、21.5%、当期利益は 300 億円の 15%。1 株当たりの当期利益は 891.76 円であります。

この前提となります為替レート、右下の 25 年度の通期予想としては、1US ドル 147 円、1 ユーロ 171 円、100 ウォンあたり 10.5 円を前提としております。

2025年度 対前年度比 営業利益 変動要因分析

（金額：億円）



© 2025 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All rights reserved.

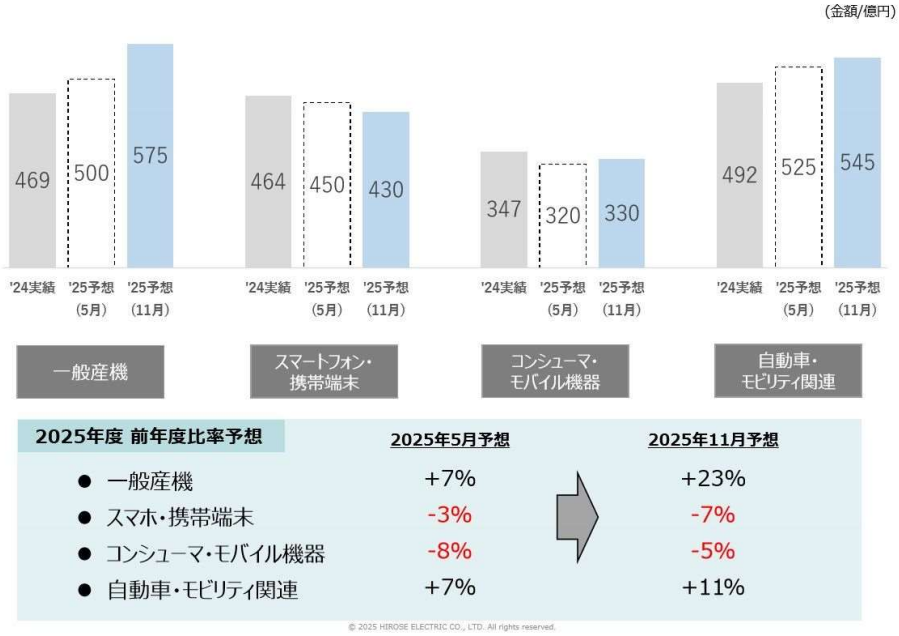
19

19 ページをお願いします。これは 2024 年度の営業利益に対して、25 年度の営業利益予想を比べた滝グラフであります。これは今回新たに用意をさせていただきました。

左から物量増等のプラスのところは数字を入れていませんけども、およそ 130 億円、為替影響はおおよそ 25 億円、設備償却は 16 億円、人件費は 29 億円、30 億円ぐらいと考えてください。売上増に伴うインセンティブと、あとは採用難易度上昇に伴う基本給のアップをここに入れております。

材料仕入れはおよそ 50 億円。ここは事前に山田から話がございましたけども、金をはじめとするメタル系の上昇および仕入れのところで、物流増に伴う倉庫代や輸送費の増が少し入っています。価格変動のところは、おおよそ 40 億円ほどをみております。

分野別 年間売上予想 修正 （概数）



20

次のページお願いします。分野別の今年度の売上予想を少し修正させていただきました。

左から一般産機ですけども、本格的な回復はまだではありますが、今足元は日系企業を中心として、期初のイメージよりも少しプラスめに動いてきていると考えております。5 月の段階でプラス 7%程度と見ておりましたが、11 月の段階ではプラス 23%で 575 億円を予想しております。

次のスマートフォンのところは、5 月の段階マイナス 3%、450 億円を見ておりましたが、ここは少し先を厳しめに見てマイナス 7%の 430 億円と見ております。

コンシューマは 320 億円、マイナス 8%と見ておりましたけども、ややマイナス側の幅を小さめに見ておりましてマイナス 5%、330 億円です。

自動車は 5 月の段階では前年比プラス 7%でしたけども期初の予想より堅調に推移していることも鑑みてプラス 11%の 545 億円と直しております。

ヒロセ技術展 CONNECTION2025

３年に１回の技術展 横浜会場@パシフィコ横浜 盛況に終わる
約1,500社より5,700名弱のお客様がご来場 (前回対比 ＋24%)

25年度 キービジュアル

横浜会場の様子１

横浜会場の様子２

お客様からのフィードバックを製品開発に反映し、課題解決型のソリューションを提供
大阪会場(グランキューブ大阪)での更なる成果創出へとつなげる。

© 2025 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All rights reserved.
21

21 ページをお願いします。今年開催の 3 年に一度のヒロセのプライベートショーです。来場いただいた方もいらっしゃったかと思いますが、3 年前の 22 年のときに比べまして、1,000 人以上の増で、5,700 名のお客様にご来場いただきました。私どもの先の製品、コンセプトに対して、非常に強い興味を持っていただいた結果かなと思っております。

これは今月 11 月にも大阪会場でも開催いたしますので、お客様の増員に対してしっかりとした対応というのを引き続きやっていくとともに、既に横浜でのお客様との会話の中から、先の新しいコネクタニーズについて、いくつか議論が始まっておりますので、しっかりとそこを新製品に繋げていくということが重要で今総動員で取り組んでおります。

次のページお願いします。最新の情報で本日間に合わないかなと思いましたけども、しっかりと間に合いましたのでご報告させていただきます。

CES のイノベーションアワードです。2026 年にヒロセの新しいコネクタが受賞ということであります。今回 5 製品目になります。これまで 2020 年、2022 年および 2023 年で受賞をしておりまして、それに続いてとなります。今回は EV およびハイブリッド向けのコネクタでありまして、しっかりと自動車の市場に供給をしてお客様のニーズに応えていきたいと思っております。

私からは以上です。

山田：スライドに沿ったご説明は以上となります。

免責事項

本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。 これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。